

令和 7 年度 農村災害対策整備事業 雨水排水対策検討業務委託  
駒ヶ根市 竜西地区  
特記仕様書

1 総則

1-1 適用範囲

本特記仕様書は「令和 7 年度 農村災害対策整備事業 雨水排水対策検討業務委託 駒ヶ根市 竜西地区」（以下「本業務」という。）に適用するものとする。

本業務は、特記仕様書によるものとし、明示なき事項については、監督員と協議すること。

1-2 目的

本調査の目的は、近年大雨による水路の溢水や越水等が多発していることから、水量を調整するために上流側で別系統の排水路の新設等を検討している。

本業務は、「令和 6 年度 農業災害対策整備事業 雨水排水対策調査業務」（以下「過年度業務」という。）の成果を基に、被害状況及び発生頻度等を考慮し、対策箇所の優先順位の決定・対策箇所の決定・対策工の検討を目的とする。

2 業務内容

2-1 計画準備

業務の目的・主旨を把握したうえで特記仕様書や資料の収集・確認を行い、業務の基本方針を定め、業務計画書を作成する。

2-2 被害箇所の対策優先順位選定

過年度業務にて集計した約 120 箇所の被害箇所に対して、被害状況及び発生頻度等を考慮して対策箇所の優先順位を選定する。

優先順位の選定にあたっては、発注者又は水路管理者と協議するものとする。

2-3 対策箇所の決定

選定した優先順位を基に、対策を検討する箇所を決定する。

本業務では 10 箇所程度の対策箇所を想定している。

2-4 対策箇所に対する対策工の検討

対策については、対策箇所の上流部にて標高等を参考に直近の河川又は大規模水路に排水する排水路の計画を基本とするが、流域治水を含めた広域な対策についても検討するものとする。

なお、排水路の計画については用地買収の検討は本業務では考慮しないものとする。

## 2-5 対策費用の算出

本業務の成果を基にした排水路新設の概略設計を行うための業務委託費用を算出する。

## 2-6 設計協議（打合せ）

打合せは初回、中間（3回）、納品時の計5回を予定しており、中間打合せは被害箇所の対策優先順位の選定・対策箇所の決定・対策工の検討で各1回を想定しているが、初回打合せの際に監督員と協議するものとする。

## 2-7 報告書作成

上記業務を取りまとめ報告書を作成する。成果品は次のとおりとし、発注者に納入する。

- (1) 業務報告書 1部
- (2) 上記(1)の電子データ 1部

## 3 貸与資料

本業務を実施するにあたって発注者から貸与する資料は以下のとおりとする。

- ・令和6年度 農業災害対策整備事業 雨水排水対策調査業務
- ・水路マップ（竜西）

## 4 秘密の保持

業務遂行中に知り得た資料、成果等の情報を発注者の許可無く他に漏らしたり、使用したりしてはならない。

## 5 疑義

その他、疑義が生じた場合、受発注者協議の上、決定するものとする。

以 上

## 災害の原因の集計（竜西地区）

土地改区	発生原因	件数
駒ヶ根土地改良区	流下能力不足・流木・ゴミ流入	2
	流下能力不足	2
	構造不適切	3
	記載なし	2
土地改良区 計		9
大田切土地改良区	流下能力不足	30
	構造不適切	5
	記載なし	5
土地改良区 計		40
中田切水利組合	流下能力不足	10
	構造不適切	7
	記載なし	1
土地改良区 計		18
全市 計		67

地区計	発生原因	件数
下平	流下能力不足	1
	経年劣化	1
地区計		2
赤穂	構造不適切	14
	流下能力不足	25
	経年劣化	7
	記載なし	6
地区計		46
全市計		51

合計	118
----	-----